



## 日本政府の取り組み — 菅総理の施政方針演説（2021年1月18日）

### 菅総理は2050年までにカーボンニュートラル（CN）の実現を目指すことを宣言

2050年カーボンニュートラルを宣言しました。

もはや環境対策は経済の制約ではなく、社会経済を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す、その鍵となるものです。

まずは、政府が環境投資で大胆な一步を踏み出します。過去に例のない2兆円の基金を創設し、過去最高水準の最大10%の税額控除を行います。次世代太陽光発電、低コストの蓄電池、カーボンリサイクルなど、野心的イノベーションに挑戦する企業を、腰を据えて支援することで、最先端技術の開発・実用化を加速させます。水素や、洋上風力など再生可能エネルギーを思い切って拡充し、送電線を増強します。デジタル技術によりダム発電を効率的に行います。

安全最優先で原子力政策を進め、安定的なエネルギー供給を確立します。

2035年までに、新車販売で電動車100%を実現いたします。